

第Ⅰ部 講演

村上 祐子 (立教大学)

生成AIは教育における評価を変えるか

平和博 (桜美林大学)

チャットGPT vs. 人類 その凄さと怖さ

第Ⅱ部 討論

司会 宮坂 麻子 (朝日新聞社)

ディスカッサント

児美川 孝一郎

坂本 旬

ChatGPT vs. キャリアデザイン
生成AIは若者のキャリアに
どんな影響をもたらすのか？

2023/11/18 Sat. 14:00-16:30

オンライン配信 (事前申込制：先着200名様)

申し込みフォーム：<https://forms.gle/f92gMwwLWe4YjJjSA>



法政大学キャリアデザイン学部シンポジウム

講演者プロフィール



村上 祐子：立教大学大学院人工知能科学研究科教授・文学部教授(哲学)

応用哲学会会長、日本哲学会理事、科学基礎論学会理事、日本科学哲学会理事、IEEE SSIT Japan役員、情報処理学会会員、電気情報通信学会専門委員。JST digestおよびCREST領域アドバイザー。

【主著】 Murakami, Yuko (2004). Utilitarian Deontic Logic. _Advances in Modal Logic_ 5 211-230.

【略歴】 国立情報学研究所、東北大学理学部・文学部、立教大学理学部を経て現職。Ph.D(philosophy, Indiana University)



平 和博：桜美林大学リベラルアーツ群教授

朝日新聞社で四半世紀にわたりインターネットの拡大とメディアの変化を取材。個人ブログ「新聞紙学的」やYahoo!ニュースエキスパートで情報発信。

【主著】『チャットGPT vs. 人類』(文藝春秋)2023年、『悪のAI論:あなたはここまで支配されている』(朝日新聞出版)2019年、『信じてはいけない:民主主義を壊すフェイクニュースの正体』(朝日新聞出版)2017年

【略歴】 朝日新聞シリコンバレー駐在、編集委員、IT専門記者を経て、2019年4月から現職。2022年から日本ファクトチェックセンター運営委員。2023年からJST-RISTEXプログラムアドバイザー。

司会者プロフィール



宮坂 麻子：朝日新聞社編集委員

朝日新聞社にて、学校改革、授業改革、ICT教育、インクルーシブ教育、いじめ、不登校、受験、そのほか教育政策全般を扱う。

【主著・主担当記事】「対話型AI 授業でどう使う?」、連載「教育DXの波」等の記事を執筆。「Chat GPTはココロを宿しているのか 研究者が説くAIとの共棲」にもコメント。編著に『学びに凸凹のある子が輝く デジタル時代の教育支援ガイド』(Gakken) 2021年 ほか。

【略歴】 1992年朝日新聞社入社。名古屋本社教育担当記者、東京本社社会部教育班及び文部科学省記者クラブ担当、教育IT専門記者など、約30年教育現場を取材。

ディスカッサント (本学部教員)

児美川 孝一郎：

キャリア教育をはじめとする現代教育問題が専門。主著『キャリア教育がわかる：実践をデザインするための〈基礎・基本〉』(誠信書房) 2023年

坂本 旬：

メディア情報リテラシーが専門。主著『メディアリテラシーを学ぶ：ポスト真実世界のディストピアを超えて』(大月書店) 2022年